

令和3年度 第1回京都府立図書館協議会 議事要旨

1 開催日時

令和3年7月2日（金）午後1時30分から午後3時30分まで

2 場所

京都府立図書館（京都市左京区岡崎成勝寺町）

3 出席者

原田隆史委員（会長）、明致親吾委員、川口浩文委員、潮江宏三委員、
真壁似奈委員、松下亜樹子委員、山口剛委員

4 会議の内容

- (1) 会長の選出、会長職務代理者の指名等
- (2) 令和2年度取組に係る内部評価について
- (3) 令和3年度事業計画について

5 協議事項

- (1) 会長の選出、会長職務代理者の指名等
 - 会長には原田委員が選出された。
 - 職務代理者には川口委員が会長から指名された。
 - 傍聴要領について確認した。
- (2) 令和2年度取組に係る内部評価について
 - 事務局から概要について資料に基づき説明
 - 委員意見
 - ・ 市町村立図書館員等の研修では、市町村の要望に応じた研修が実施できたことが評価できる。なかでも、レファレンス研修（中級）の実施は、新しい取り組みとして高く評価できる。
 - ・ 学校支援セット貸出について、学校の休校期間があったりした中で、年間としてあまり減らなかったことは、取組の成果である。
 - ・ オープンデータでの公開については、コロナウイルス感染予防対策が引き続く中、何らかの形でアピールできればよかった。
 - ・ ナレッジベースについては、知的な交流の場として、さらなる活用について期待したい。
 - ・ 今回の内部評価は妥当である。
- (3) 令和3年度事業計画について
 - 事務局から概要について資料に基づき説明
 - 委員意見
 - ・ 市町村立図書館のニーズを踏まえた研修については、コロナウイルス感染防止

対策が続く中では、オンライン研修も計画に含めていただければと思う。

- 広報については、学校の先生方に伝わることで児童生徒の皆さんへの情報発信になると思う。こうした間接的な広報についても考えていただきたい。
- 岡崎地域における連携については、これまで培った施設間の絆や阿吽の呼吸を生かしながら、今後とも発展させてほしい。
- 障害者サービスについては、市町村立図書館と府立図書館の役割分担が大事なこととなると思うので、今後も検討いただきたい。
- 図書館応援チームについては、継続的な取組の在り方を検討しながら、積極的に進めていただきたい。
- 高校生が大人になって市民として図書館サービスを活用するときに大切なのはレファレンス機能である。レファレンス窓口へのアプローチについて、より一層の工夫をいただきたい。
- 子どもの読書活動の推進について、積極的に発信していただきたい。
- サービスの利便性を高めることは重要であるが、利用者に丁寧な説明をしながら進める必要がある。